

《平成24年度薩摩川内市事務事業評価表》

1 事務事業の位置付け(Plan)							
事務事業名	薩摩川内市敬老金支給事業				担当者	齊藤 夏美	
所管部課名	市民福祉部 高齢・介護福祉課				事業の根拠 (根拠法令)	薩摩川内市敬老金支給条例	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理						
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	健康で共に支え合うまちづくり	主要施策 (節)	高齢者福祉の充実		
				施策 (項)	高齢者の介護予防・生活支援の充実		
予算科目 等	会計	一般会計		款	民生費		
	項	老人福祉費		目	老人福祉総務費		
	事項	老人福祉管理運営費		細事項	老人福祉管理運営費		
事業の概要							
<p>本市に引き続き1年以上住民登録をしている、満88歳及び満100歳以上並びに最高齢の者に敬老金を支給し、満100歳に達した者に特別敬老金を支給する。</p> <p>また、併せて受給対象者の所在把握を行う。</p>							
2 事務事業の実施 (Do)							
事業の 内容	対象 (誰を、何を 対象とする 事業か)	1 敬老金(9月1日時点で本市に1年以上住民登録をしている) ・満88歳の者及び満100歳以上の者(1万円) ・最高齢の者(20万円・・・最高齢になった年度限り) 2 特別敬老金(本市に1年以上住民登録をしている) ・満100歳に達した者(5万円)		事業開始年度		昭和33年度	
	手段 (市がどの ような活動 をするか)	敬老金または特別敬老金を支給 ・対象者一覧表を作成し、受給対象者の所在把握を行う。 ・支給日は、満88歳と満100歳以上の者は敬老の日に、満100歳の者については100歳の誕生日に支給。 ・満88歳の者については、民生委員に支給を依頼。 ・満100歳以上の者については、市長・副市長・教育長を含め市職員が支給。 ・満100歳の者については、市職員が支給。 ・支給は、対象者の自宅又は入所・入院先を訪問して支給。		活動指標 (市として何を行うか?)	指標名	受給対象者所在把握調査	
					最終目標値	100%	
					最終年度	平成26年度	
	意図 (どのような 目的で事業 を行うか)	1 長寿の祝福 2 受給対象者の所在把握。		成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	受給対象者に敬老金等支給	
					最終目標値	100% 平成23年度実績 ・敬老金・・・616名(最高齢者含む) ・特別敬老金・・・27名	
				最終年度	平成26年度		
経費及び 指標の 推移	項目	単位	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 予算額	平成25年度 見込み	平成26年度 見込み
	事務事業費	千円	7,850	7,766	9,458	9,458	9,458
	敬老金		5,920	6,350	6,970	6,970	6,970
	特別敬老金		1,850	1,350	2,400	2,400	2,400
	祝い状・額縁・のし袋		80	66	88	88	88
	要員配置状況	人	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
	職員		0.06	0.06	0.06	0.06	0.06
	嘱託員						
	臨時職員等						
活動指標の推移		100% (629名)	100% (643名)	100% (726名)	100%	100%	
成果指標の推移		100% (629名)	100% (643名)	100% (726名)	100%	100%	
財源内 訳	事務事業費	千円	7,850	7,766	9,458	9,458	9,458
	国・県支出金						
	その他						
	一般財源		7,850	7,766	9,458	9,458	9,458

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) ・支給年齢の整理や支給額の変更などを、適時行ってきた。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) ・本市は、市として高齢者のこれまでの労をねぎらうとともに、その長寿を祝福するとの考えから、現在の敬老金支給事業を実施しており、今後も市で実施すべきものとする。(類似団体も同様の事業を実施している) ・国も、高齢者の長寿を祝福するとの考えから、敬老の日記念事業を実施している。 ・社会福祉協議会も同様の考えから、敬老記念品支給事業を実施している。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) ・平成19年度に対象年齢(満88歳及び満99歳並びに満100歳以上の者→満88歳及び満100歳以上並びに最高齢のもの)を整理するとともに、全て現金支給としていたものを満88歳及び満100歳以上は敬老記念品に変更 ・平成22年度に敬老記念品を現金支給にするとともに、特別敬老金額の減額(10万円→5万円)を行った。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) ・現行の支給年齢区分では、削減の余地はない。
有効性	成果の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> かなり高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) ・支給対象者全員に支給している。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) ・支給対象者が限定されている。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	内部評価結果 今後の改革の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 → 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 上記方向の理由 ・これまでも対象年齢の整理や支給額の削減を行っている。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画
外部評価 (二次)	外部評価結果 事業の視点別評価 妥当性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 ⇒ <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 低い 今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 → 今後の方向 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 外部評価結果のまとめ

○薩摩川内市敬老金支給条例

平成16年10月12日

条例第148号

(目的)

第1条 この条例は、本市に居住する高齢者に対し、その長寿を祝福して敬老金又は特別敬老金を支給することを目的とする。

(受給対象者)

第2条 敬老金又は特別敬老金を受ける者は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 敬老金 毎年9月1日現在において、本市に住所を有するに至った日から引き続き1年以上を経過する者で、満88歳及び満100歳以上並びに最高齢のもの

(2) 特別敬老金 本市に住所を有するに至った日から引き続き1年以上を経過する者で満100歳に達したもの

(敬老金又は特別敬老金の額等)

第3条 敬老金の額は、次に掲げるとおりとする。

(1) 満88歳の者及び満100歳以上の者 1万円

(2) 最高齢の者 20万円(1回限りの支給とする。)

2 特別敬老金の額は、5万円とする。

3 市長は、特別の理由があるときは、敬老金又は特別敬老金をこれに相当する額の物品に替えて、支給することができる。

(敬老金又は特別敬老金の支給)

第4条 敬老金は、毎年国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第2条に規定する敬老の日前7日以内に支給するものとする。ただし、これにより難い理由があるときは、この限りでない。

2 特別敬老金は、その者の満100歳の誕生日に支給するものとする。ただし、これにより難い理由があるときは、この限りでない。

(委任)

第5条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成16年10月12日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第1号及び第3条第1項の規定にかかわらず、合併前の薩摩郡樋脇町、同郡入来町、同郡東郷町、同郡祁答院町、同郡里村、同郡上甑村、同郡下甑村及び同郡鹿島村の区域内に引き続き1年以上住所を有する者に係る敬老金については、平成17年度に限り、次の各号に掲げる者に対し、当該各号に定める額を支給するものとする。

(1) 満80歳に達した者 5,000円

(2) 満85歳に達した者 1万円

(3) 満90歳に達した者 2万円

(4) 満95歳に達した者 3万円

附 則(平成19年3月28日条例第26号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月25日条例第18号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

薩摩川内市敬老金事業 実績

1 対象者数実績

	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度 実績	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成25年度 見込み	平成26年度 見込み
1 敬老金	519	521	526	553	592	616	678	678	678
満88歳			476	504	525	558	600	600	600
満99歳	519	520	—	—	—	—	—	—	—
100歳以上			48	49	67	57	77	77	77
最高齢	—	1	2	0	0	1	1	1	1
2 特別敬老金	28	26	19	38	37	27	48	48	48
合計	547	547	545	591	629	643	726	726	726

※ ①満99歳到達は、平成18年度まで支給。②最高齢者は、平成19年度から支給。③平成18年度と19年度の敬老金は、年齢区分が不明であるため、18年度は満88歳＋満99歳＋満100歳以上の合計で、19年度は満88歳＋満100歳以上の合計で計上。

人口 (各年10月1日)	103,450	102,767	102,099	100,559	100,911	100,553	100,553	100,553	100,553
対象者の割合	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%
65歳以上人口 (各年10月1日)	27,044	27,198	27,224	27,270	27,160	26,852	26,852	26,852	26,852
高齢化率	26.1%	26.5%	26.7%	27.1%	26.9%	26.7%	26.7%	26.7%	26.7%

2 支給金額実績

(単位: 千円)

	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度 実績	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画	平成25年度 見込み	平成26年度 見込み
1 敬老金	5,190	5,400	5,640	5,530	5,920	6,350	6,970	6,970	6,970
満88歳			4,760	5,040	5,250	5,580	6,000	6,000	6,000
満99歳	5,190	5,200	—	—	—	—	—	—	—
100歳以上			480	490	670	570	770	770	770
最高齢	—	200	400	0	0	200	200	200	200
2 特別敬老金	2,800	2,600	1,900	3,800	1,850	1,350	2,400	2,400	2,400
合計	7,990	8,000	7,540	9,330	7,770	7,700	9,370	9,370	9,370

※平成19年度から平成21年度までの満88歳及び100歳以上の対象者は、敬老記念品を支給。

※平成22年度から、特別敬老金額は、10万円から5万円に減額。

ごあいさつ

厳しい残暑も和らぎはじめ、秋風が肌に心地よい季節となりました。皆様におかれましては、穏やかに毎日をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

敬老の佳き日にあたり、ご長寿を心からお祝い申し上げます。

本年三月の、東日本大震災により、日本中が深い悲しみに包まれました。しかしながら復興に向け被災地でのボランティア活動を始め、日本中で支援の輪が広がっている事は、日本人の美しい心の証と言えるでしょう。未曾有の大震災の一方で、九州新幹線が全線開業しました。本市では、この千載一遇の機会に、古い歴史と観光を始めとするすばらしい景観や自然を目玉とした観光や地元特産品を全国に向けて発信するなど、市を挙げてシティーセールスに取り組んでいるところです。

今日の発展は、ひとえに皆様方が家族や隣人を思い、また、郷土発展のために、献身的に尽くされた賜であると深く感謝申し上げます。これから元気に年を重ね、貴重な経験や豊かな知識を若い世代へ継承してくださるようお願いいたします。

最後に、あなた様のますますのご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

平成二十三年敬老の日に

薩摩川内市長 岩切 秀雄

岩切 秀雄 100歳

お祝い

殿

あなたはこのたび満百歳
をめでたく迎えられました
ここにその足跡を讃えると
共に今後ますますの御健康と
御多幸を心からご祈念し
お祝い申し上げます

平成 年 月 日

薩摩川内市長 岩切秀雄

満100歳

外部委員評価作業シート

番号: 14

事務事業名: 敬老金支給事業

○視点別評価

委員名

視 点	事 務 事 業 を 評 価 す る 際 の 着 眼 点
妥 当 性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施の対象・手段は適切か ・市民ニーズを反映しているか（ニーズが薄れていないか） ・国や県、他の課の事務事業と重複または類似していないか ・民間で実施する方が、より成果や効率性が高まらないか ・すでに期待した目的を達成した事業ではないか ・社会情勢の変化による目的や対象・手段について見直しの余地はないか
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ・更なるコスト削減が図れないか ・費用対効果は適切か ・従事職員数は適切か ・他の実施主体を活用し、コスト削減が図れないか ・整理・統合できる事業はないか
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿って期待通りの成果があるか ・事業継続により成果の向上が期待できるか ・コストに対し、十分な成果があがっているか
事業の視点別評価	<div> <div>■ 妥当性 ⇒</div> <div>□ 高い □ 低い</div> </div> <div> <div>■ 効率性 ⇒</div> <div>□ 高い □ 低い</div> </div> <div> <div>■ 有効性 ⇒</div> <div>□ 高い □ 低い</div> </div>

○評価区分

区 分	評 価 の 理 由	チェック
現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容や実施方法が適切である ・事業規模（予算）が適切である 	
見直しの上で継続	<div>拡大</div> <ul style="list-style-type: none"> ・事業規模（予算）を拡大すべきである ・対象範囲を見直す必要がある 	
	<div>統合</div> <ul style="list-style-type: none"> ・他の事務事業と統合すべきである 	
	<div>手段の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容や実施手法を見直す必要がある ・業務処理の効率化を図るべきである ・民間で実施した方が効果的・効率的である ・市民ニーズの再把握が必要である 	
	<div>移管</div> <ul style="list-style-type: none"> ・他の課・部署へ移管すべきである 	
	<div>縮小</div> <ul style="list-style-type: none"> ・事業規模（予算）を縮小すべきである ・対象範囲を見直す必要がある 	
休 止	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の達成状況、社会情勢の変化から、事業実施の必要性・緊急性がない又は低い。 	
廃 止	<ul style="list-style-type: none"> ・市で実施する妥当性がない 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・目的の達成手段として不適切である 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果がない又は低い 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の必要性がない又は低い 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業と重複している 	
今後の改革の方向性	<div> <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上で継続 ⇒ 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 </div>	



外部評価結果のまとめ（行政改革推進委員会の意見）
<div>■評価■（今後の改革の方向性）</div> <div>■付記する意見■</div>